

南アフリカのプレトリアで「日本留学フェア」を開催

本学アフリカサカオフィスでは、5月22日（水）、南アフリカ共和国の行政首都プレトリア市内で「日本留学フェア」を開催しました。本フェアは、サブサハラ・アフリカ地域の優秀な学生の日本留学誘致を目的に、本学が文部科学省から受託している「日本留学海外拠点連携推進事業」の一環として実施されたものです。

アフリカのなかでも優れた教育研究機関を多く有する南アフリカでは、親日派も多く、2010年には「日・南ア交流100周年」を機に両国の益々の学術交流促進を目的として、本学と大学間交流協定を締結しているプレトリア大学に日本研究センターが設立されています。本フェアは、日本の大学と南アフリカの大学の学術交流の促進を目的として5月23日（木）・24日（金）に開催された「第4回日本・南アフリカ大学フォーラム（SAJUフォーラム）」のサイドイベントとして実施されました。

在南アフリカ日本国大使館とSAJUフォーラム事務局の協力のもと実施された本フェアには、本学、朝日大学、京都大学、熊本県立大学、国際大学、

筑波大学、東京外国語大学、東京海洋大学、同志社大学、山梨学院大学、横浜国立大学、立命館アジア太平洋大学の12校が日本から参加しました。本学からは、アフリカサカオフィス所長の奥村正裕獣医学研究院教授、池中良徳獣医学研究院准教授、アフリカサカオフィス留学コーディネーターの成澤徳子特任助教と大門 碧特任助教、国際連携機構の植村妙菜国際URA、国際部の安高由香利特定専門職員が参加しました。

まず、奥村アフリカサカオフィス所長が開会挨拶を述べた後、来賓の川口周一郎公使参事官から祝辞をいただきました。次に、アフリカサカオフィスから日本留学、在南アフリカ日本国大使館から国費奨学金及び外国青年招致事業JETプログラムの概要を説明しました。続いて、帰国留学生により日本留学経験談が披露され、その後、本学を含む日本の各大学から、それぞれの研究教育の特色と留学プログラムが紹介されました。最後に、日本の参加大学・機関によるブースでの個別説明が行われ、本学のブースにも多くの熱心な参加者が訪れました。その

他22大学・機関*の案内資料が、別途配布されました。

本フェアの開催にあたって、新聞広告のほか、在南アフリカ日本国大使館及びプレトリア大学日本研究センターのSNSやメーリングリストを活用させていただいた結果、市内の高校生や大学生、その保護者を中心に、予想人数の2倍を上回る約330名が来場し、日本留学の効果的な広報の機会を持つことができました。本学では引き続き、サブサハラ・アフリカ地域からより多くの留学生を日本に誘致する活動を実施していきます。

*資料のみ参加の大学等機関：朝日学園明生情報ビジネス専門学校、あしなが育英会、大阪大学、岡山大学、お茶の水女子大学、九州大学、九州工業大学、上智大学、信州大学、東京大学、東京工業大学、東京国際大学、東北大学、富山大学、長崎大学、名古屋大学、名古屋外国語大学、日本学生支援機構、弘前大学、広島大学、山形大学、横浜市立大学、早稲田大学（計23大学・機関、50音順）

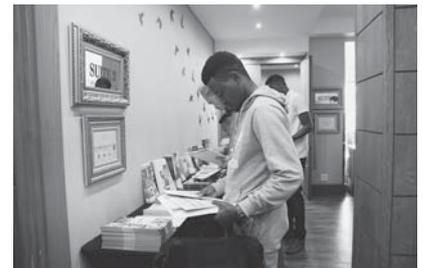
（国際部国際連携課）



説明を熱心に聞く参加者



本学のブース



資料参加大学のパンフレットを手取る来場者